

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
		/	施工体制が適切である。	他の事項に該当しない。	施工体制がやや不備である。	施工体制が不備である。	
1 施 工 体 制	I 施工体制一般	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 施工計画書の記載内容と現場の施工体制等が一致していた。 <input type="checkbox"/> 2. 施工体制台帳の写しを提出した。 <input type="checkbox"/> 3. 施工体制台帳の写しに下請負契約書(写)及び再下請負契約書を添付していた。 <input type="checkbox"/> 4. 施工体制台帳に下請金額を記入していた。 <input type="checkbox"/> 5. 提出された施工体制台帳と同一のものが現場に備え付けられていた。 <input type="checkbox"/> 6. 施工体系図が整備され現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げられ、現場と一致していた。 <input type="checkbox"/> 7. 「建設業許可」、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」及び「労災保険加入」の標識が現場に掲示されていた。 <input type="checkbox"/> 8. 建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿により適切に管理していた。 <input type="checkbox"/> 9. 元請負人が下請工事の施工に実質的に関与していた。 <input type="checkbox"/> 10. 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 11. その他(理由:)				1. 左記「評価対象項目」のうち、2, 5, 6, 9のいずれかが☒である。 上記該当事項があれば…e	
	○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c b 対象項目2以下		・該当項目が80%以上 b ・該当項目が60%～79% c ・該当項目が60%未満 d				
	評価		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				
	C						
II 配 置 技 術 者	II 配置技術者	a	b	c	d	e	
			技術者が適切に配置されている。	技術者がほぼ適切に配置されている。	他の事項に該当しない。	技術者の配置がやや不備である。	技術者の配置が不備である。
			「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 現場代理人は、現場に常駐していた。常駐を要しない場合は、工事全体の把握及び運営に支障がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 現場代理人として、監督員との連絡調整を書面で行っていた。 <input type="checkbox"/> 3. 工事カルテの登録は、監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われていた。 <input type="checkbox"/> 4. 主任技術者または監理技術者が現場に専任していた。 <input type="checkbox"/> 5. 監理技術者が所持する監理技術者証が、本人のものであり、当該資格、有効期限が適切であった。 <input type="checkbox"/> 6. 専門技術者を選任し、配置していた。 <input type="checkbox"/> 7. 作業主任者を選任し、配置していた。 <input type="checkbox"/> 8. 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 9. その他(理由:)				1. 左記「評価対象項目」のうち、4, 5, 6のいずれかが☒である。 1項目でも該当があれば…d 2項目該当があれば…e
	○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c a 対象項目2以下		・該当項目が80%以上 b ・該当項目が60%～79% c ・該当項目が60%未満 d				
評価		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。					
C							

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
			施工管理が適切である。	他の事項に該当しない。	施工管理がやや不備である。	施工管理が不備である。	
2 施工 状 況	I 施工管理	「評価対象項目」				<input type="checkbox"/> 1. 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改造請求を行った。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書が工事着手前に提出されていない。 <input type="checkbox"/> 3. 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 4. 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督員から文書により改善指示を行った。 上記1項目でも該当があれば…d 2項目該当があれば…e	
		<input type="checkbox"/>	1. 施工計画書の記載内容が具体的に設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていた。				
		<input type="checkbox"/>	2. 施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していた。				
		<input type="checkbox"/>	3. 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されていた。				
		<input type="checkbox"/>	4. 品質確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できた。				
		<input type="checkbox"/>	5. 日常の出来形管理が適宜、的確に行われていた。				
		<input type="checkbox"/>	6. 日常の品質管理が適宜、的確に行われていた。				
		<input type="checkbox"/>	7. 現場のイメージアップに積極的に取り組んでいた。				
		<input type="checkbox"/>	8. 社内検査員の資格(身分及び経歴)が適正である。また社内検査員に関する資料を書面で提出した。				
		<input type="checkbox"/>	9. 社内検査は出来形、品質及び写真管理等、工事全般にわたり適切に実施していた。				
<input type="checkbox"/>	10. 立会確認の手続きが事前になされていた。						
<input type="checkbox"/>	11. 段階確認の確認時期が適切な時期に行われていた。						
<input type="checkbox"/>	12. 産業廃棄物管理表により、適正に管理されていた。						
<input type="checkbox"/>	13. 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出していた。						
<input type="checkbox"/>	14. 現場内での整理整頓が日常的になされていた。						
<input type="checkbox"/>	15. 資料材料等の品質保証書または工事記録写真等が適切に管理されていた。						
<input type="checkbox"/>	16. 工事内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書が提出されている。						
<input type="checkbox"/>	17. 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。						
<input type="checkbox"/>	18. その他(理由:)						
		・該当項目が80%以上b ・該当項目が60%～79%c ・該当項目が60%未満d				①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	
II 工程管理	II 工程管理	a	b	c	d	e	
		工程管理が適切である	工程管理がほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	工程管理がやや不備である。	工程管理が不備である。	
		「評価対象項目」				<input type="checkbox"/> 1. 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。(ただし、改善指示による場合を除く。) 上記該当があれば…e <input type="checkbox"/> 2. 自主的な工程管理がなされず、監督員から文書により改善指示を行った。 上記該当があれば…d	
		<input type="checkbox"/>	1. フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っていた。				
		<input type="checkbox"/>	2. 時間制限・片側交互通行等の各種制約があるにもかかわらず工程の短縮を行った				
		<input type="checkbox"/>	3. 現場条件の変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を図った。				
		<input type="checkbox"/>	4. 作業員の休日の確保を行った。				
		<input type="checkbox"/>	5. 工程表の内容が検討され充実している。また現場事務所での工程管理を工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握されていた。				
		<input type="checkbox"/>	6. 夜間や休日等の作業が少なく、余裕をもって工期前に完成した。				
		<input type="checkbox"/>	7. 工事内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書が提出されている。				
<input type="checkbox"/>	8. 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。						
<input type="checkbox"/>	9. その他(理由:)						
		・該当項目が90%以上a ・該当項目が80%～89%b ・該当項目が60%～79%c ・該当項目が60%未満d				①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	

○ 0 × 0 - 1
 評価値 入力漏れ
 c a
 対象項目2以下
 評価

○ 0 × 0 - 1
 評価値 入力漏れ
 c a
 対象項目2以下
 評価

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		安全対策が適切であった。	安全対策がほぼ適切であった。	他の事項に該当しない。	安全対策がやや不備であった。	安全対策が不備であった。
2 施 工 状 況	III 安全対策	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月異常活動し、記録が整備されていた。 <input type="checkbox"/> 2. 安全パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されていた。 <input type="checkbox"/> 3. 安全教育・訓練等を半日/月以上適宜、的確に実施し、記録が整備されかつ創意工夫をしていた。 <input type="checkbox"/> 4. 安全巡視、TBK、KY等と実施し、記録を整備していた。 <input type="checkbox"/> 5. 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されていた。 <input type="checkbox"/> 6. 過積載防止に具体的、かつ積極的に取り組んでいた。 <input type="checkbox"/> 7. 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、管理されていた。 <input type="checkbox"/> 8. 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされていた。 <input type="checkbox"/> 9. 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されていた。 <input type="checkbox"/> 10. 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されていた。 <input type="checkbox"/> 11. 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、よく整備されていた。 <input type="checkbox"/> 12. 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告をしていた。 <input type="checkbox"/> 13. 始業時間前の切土法面の点検を実施していた。 <input type="checkbox"/> 14. 道路作業上での歩行者及び車両等の誘導を適切に行っていた。 <input type="checkbox"/> 15. 異常気象時の対策が十分にとられていた。 <input type="checkbox"/> 16. 現場特有の条件に合った安全対策が適切に行われていた。 <input type="checkbox"/> 17. 長期にわたる休みの安全パトロールが行われていた。 <input type="checkbox"/> 18. 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 19. その他(理由:)				<input type="checkbox"/> 1. 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。 上記該当があれば…e <input type="checkbox"/> 2. 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。 上記該当があれば…d
		○ 0 × 0 - 1 評価値 入力漏れ c a 対象項目2以下 評価 C		・該当項目が90%以上 ……………a ・該当項目が80%～89% ……………b ・該当項目が60%～79% ……………c ・該当項目が60%未満 ……………d	①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		対外関係が適切であった。	対外関係がほぼ適切であった。	他の事項に該当しない。	対外関係がやや不備であった。	対外関係が不備であった。
2 施 工 状 況	IV 対外関係	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 工事施工にあたり、地元との適切な調整を行った。 <input type="checkbox"/> 3. 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。 <input type="checkbox"/> 4. 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。または苦情によるトラブルが少なかった。 <input type="checkbox"/> 5. 隣接工事または、施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行って工事全体の円滑な進捗に寄与していた。 <input type="checkbox"/> 6. 現場内の作業で、近隣住民に故意や過失により迷惑をかける行為がなかった。 <input type="checkbox"/> 7. 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 8. その他(理由:)				<input type="checkbox"/> 1. 関連工事との調整に関して発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。 上記該当があれば…e
						<input type="checkbox"/> 2. 請負者の対応による苦情が多い。または対応が悪くトラブルがあった。 <input type="checkbox"/> 3. 関係法令に違反する恐れがあったため、監督員から文書により指示を行った。 上記該当事項があれば…d
○ 0 × 0 - 1 評価値 入力漏れ c a 対象項目2以下		・該当項目が83%以上a ・該当項目が66%～82%b ・該当項目が66%未満c				
評価 C		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。(※ばらつきの判定は別紙-4参照)	1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。	1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	1. 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形 評価値 入力漏れ	①出来形の評定は工事全般を通したものとする。 ②出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価				1. 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば…d	1. 契約約款第17条第2項もしくは第3項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば…e
	細別	a	b	c	d	e
		1. 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。(※ばらつきの判定は別紙-4参照)	1. 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。	1. 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	1. 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	1. 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
	II 品質 評価値 入力漏れ	①品質の評定は工事全般を通したものとする。 ②品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく品質を確保する管理体系である。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価				1. 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば…d	1. 契約約款第17条第2項もしくは第3項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば…e

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e		
		出来形管理が適切である。	出来形管理がほぼ適切である。	他の項目に該当しない。	出来形管理がやや不備である。	出来形管理が不備である。		
3 出来形 電気設備工事・機械設備工事等、別紙1-⑤により評価できない場合 及び 出来れば ○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c a 対象項目2以下 評価	I 出来形	「評価対象項目」			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば…d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条第2項もしくは第3項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば…e		
		<input type="checkbox"/> 1. 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。	<input type="checkbox"/> 2. 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真での確に確認できる。	<input type="checkbox"/> 3. 管理基準により、適切に管理している。			<input type="checkbox"/> 4. 写真管理基準により、創意工夫を持って適切に管理している。	
		<input type="checkbox"/> 5. 出来形の性能、機能が設計値(設計図書)を満足し、ばらつきが少ない。	<input type="checkbox"/> 6. 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)を満足し、ばらつきが少ない。	<input type="checkbox"/> 7. その他(理由:)				
		・該当項目が90%程度以上 ……a ・該当項目が80%～89% ……b ・該当項目が60%～79%程度 ……c ・該当項目が60%未満 ……d						
①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。								
	細別	a	b	c	d	e		
		品質管理が適切である。	品質管理がほぼ適切である。	他の項目に該当しない。	品質管理がやや不備である。	品質管理が不備である。		
II - ○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c a 対象項目2以下 評価	II -	「評価対象項目」			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば…d	<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条第2項もしくは第3項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば…e		
		<input type="checkbox"/> 1. 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。	<input type="checkbox"/> 2. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。	<input type="checkbox"/> 3. 施工図・施工計画から適切に作成され、関連工事との調整がなされている。			<input type="checkbox"/> 4. 材料の品質証明が適切である。	
		<input type="checkbox"/> 5. 品質計画による品質管理記録が整備されている。	<input type="checkbox"/> 6. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。	<input type="checkbox"/> 7. 各種試験または試運転等の記録が整備されている。			<input type="checkbox"/> 8. その他(理由:)	
		・該当項目が90%以上 ……a ・該当項目が80%～89% ……b ・該当項目が60%～79% ……c ・該当項目が60%未満 ……d						
①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。								
		C						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
		出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、下記の4項目全てに該当するもの。	出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、下記の2項目以上に該当するもの。	出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、a及びbに該当しないもの。	出来形が不明確で契約約款17条第1項による監督員の補修の指示を行った。 該当項目があれば…d		
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形建築工事 ○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に基づく出来形が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 出来形管理に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 3. 管理目標値を設定して管理している。 <input type="checkbox"/> 4. 不可視部分の出来形の写真管理が的確である。			1. 契約約款17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。 該当項目があれば…e		
	評価 C						
	細別	a	b	c	d	e	
		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。		品質が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しないもの。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足させず、品質が劣る。	
	II 品質建築工事(新築)	[確認事項] (躯体工事) <input type="checkbox"/> 1. 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 2. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 3. 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 4. 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 5. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 6. 不可視部分の出来形の写真管理が的確である。 (仕上工事) <input type="checkbox"/> 7. 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 8. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 9. 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 10. 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 11. 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。			<input type="checkbox"/> 1. 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば…d		<input type="checkbox"/> 1. 契約約款第17条第2項もしくは第3項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば…e
	建築工事(改修)	[確認事項] <input type="checkbox"/> 12. 品質管理方法が明確である。 <input type="checkbox"/> 13. 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 14. 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 15. 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 16. 品質・形状が適切で良好な施工である。					
	○ 0 × 0 - 1 評価値 入力漏れ c a 対象項目2以下	・該当項目が80%以上 ……………a ・該当項目が60%～79% ……………b ・該当項目が60%未満 ……………c					
	評価 C	①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。					

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、下記の4項目全てに該当するもの。	出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、下記の2項目以上に該当するもの。	出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、 ○ 状態が良好で、a及びbに該当しないもの。	出来形が不明確で契約約款17条第1項による監督員の補修の指示を行った。 該当項目があれば…d	
3 出来形 電気工事 通信工事 ○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c	I 出来形	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に基づく出来形が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 出来形管理に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 3. 管理目標値を設定して管理している。 <input type="checkbox"/> 4. 不可視部分の出来形の写真管理が的確である。 ※配線・支持材、機器の収まり等について考査する。			1. 契約約款17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。 該当項目があれば…e	
	評価	C				
出来 び 出来 ば え	II 品質 電気工事 通信工事	a	b	c	d	e
	品質	[確認事項] (機材) <input type="checkbox"/> 1. 機材の品質及び形状、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 2. 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 (施工) <input type="checkbox"/> 3. 品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 4. 施工品質及び形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 5. 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 6. 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 7. 不可視部分の出来形の写真管理が適切である。			<input type="checkbox"/> 品質管理項目が不十分で要求品質の確保が不明確である。 <input type="checkbox"/> 部位に不適切な材料を使用している。 <input type="checkbox"/> 品質管理が不要で監督員による補修の指示を行った。 以上に該当項目があれば…d <input type="checkbox"/> 契約約款17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。 以上に該当項目があれば…e	
	○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c a 対象項目2以下	・該当項目が6項目以上 ……a ・該当項目が4項目以上 ……b ・該当項目が2項目以上 ……c ・該当項目が1項目以下 ……d				
	評価	①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				
		C				

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]OKであれば「○」を、OKでない場合は「×」を記入し、対象外の場合は「-」を記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、下記の4項目以上に該当するもの。	出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、下記の2項目以上に該当するもの。	出来形の形状寸法及び機材(部材)の設置状態が良好で、a及びbに該当しないもの。	出来形が不明確で契約約款17条第1項による監督員の補修の指示を行った。 該当項目があれば…d	
3 出来形 機械工事 冷暖房衛生工事 ○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ c	I 出来形	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1. 機器、機具類の配置、収まりがいい。 <input type="checkbox"/> 2. 配管、ダクト、配線等の配置、収まりがいい。 <input type="checkbox"/> 3. 配管、ダクト等の支持、勾配等が良好である。 <input type="checkbox"/> 4. 保安空間、保守空間の確保、据え付けの安全性への配慮がある。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な製作精度、据付精度、出来ばえ等が良好である。			1. 契約約款17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。 該当項目があれば…e	
	評価	C				
出来ばえ	II 品質 機械工事 冷暖房衛生工事	a	b	c	d	e
		[確認事項] (機材) <input type="checkbox"/> 1. 機材等の品質、性能、形状の設計図書との適合性及び証明書類の準備 機器、機械単体品、器具類、材料、部品類、設備システム全体の機能・性能 <input type="checkbox"/> 2. 据付の状態 据付の精度・強度・耐久性、騒音、振動等 保温、防露、塗装等の仕様 <input type="checkbox"/> 3. 試験調整・現地試運転の状況及び記録書類の整備 性能確認、流量、温度等の調整状態、自動制御装置、安全・保護装置、その他装置の作動・調整状態 <input type="checkbox"/> 4. 操作性、保守維持管理性 運転操作性、メンテナンス性、完成図書の整備 <input type="checkbox"/> 5. 安全性 機能的な安全性の確保			<input type="checkbox"/> 品質管理項目が不十分で要求品質の確保が不明確である。 <input type="checkbox"/> 部位に不適切な材料を使用している。 <input type="checkbox"/> 品質管理が不要で監督員による補修の指示を行った。 以上に該当項目があれば…d <input type="checkbox"/> 契約約款17条2項もしくは3項に基づき破壊検査を行った。 以上に該当項目があれば…e	
	○ 0 × 0 - 0 評価値 入力漏れ	・該当項目が4項目以上 ……a ・該当項目が3項目以上 ……b ・該当項目が2項目以上 ……c ・該当項目が1項目以下 ……d				
	評価	①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				

工事成績評定の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目に「○」を記入する。

4 高度技術	I 高度技術	技術力キーワード一覧	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
	キーワード 評価	<p>■ 施工規模への大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 対象工作物の大きさ、施工面積、施工深度等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他(理由:)</p> <p>■ 工作物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 既設工作物等の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他(理由:)</p> <p>■ 技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 機種及び工種の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 新機種設備(機器類含む)及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 8. その他(理由:)</p> <p>■ 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 河川内・海城・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 11. その他(理由:)</p> <p>■ 厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物、供用中の設備等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 施設利用者及び周辺住民等に対する騒音・振動・空気汚染の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 公道上で特に交通規制及びその処理が伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p><input type="checkbox"/> 19. その他(理由:)</p> <p>■ 施工現場での対応</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 災害等での臨機の処置</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法の自発的提案と対応等</p> <p><input type="checkbox"/> 22. その他(理由:)</p> <p>■ その他</p> <p><input type="checkbox"/> 23. その他優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項</p>	<p>【事例: 施工規模が大規模】</p> <p><input type="checkbox"/> 高さ30m以上の工作物 <input type="checkbox"/> 特別高圧、高圧受電設備 <input type="checkbox"/> 高圧発電設備</p> <p><input type="checkbox"/> 施工場所が地下20m以深の工事 <input type="checkbox"/> ガントリークレーンの新設・移設工事</p> <p><input type="checkbox"/> 20kW以上の太陽光発電設備 <input type="checkbox"/> 焼却施設(ボイラー含)の大規模補修</p> <p><input type="checkbox"/> 大空間(公会堂、工場等)における設備工事</p> <p><input type="checkbox"/> 設計水深25m以上または扉体面積15㎡以上のゴム水密ゲート</p> <p><input type="checkbox"/> 設計水深20m以上または扉体面積6㎡以上の金属水密ゲート</p> <p><input type="checkbox"/> 口径2000mm以上または揚程35m以上の主ポンプ</p> <p><input type="checkbox"/> 処理能力100㎡/時以上の遠心濃縮機</p> <p><input type="checkbox"/> 水路長50m以上の汚泥かき寄せ機、処理能力50㎡/時以上の遠心脱水機</p> <p><input type="checkbox"/> その他特に大規模なため高度技術を要する工事</p> <p>【事例: 工作物等固有な施工難度と技術固有の難易度等】</p> <p><input type="checkbox"/> 新機種・特殊設備を採用した工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施工場所や工作物等の特殊性に対応するための新技術、新工法を採用した工事</p> <p><input type="checkbox"/> 中央監視制御設備等の既存設備を更新する工事</p> <p><input type="checkbox"/> ポンプ場設備等の更新工事で、既存の設備を稼働させながら更新を行う工事</p> <p><input type="checkbox"/> 二階層汚泥沈殿地を採用した工事 <input type="checkbox"/> 舞台音響、舞台照明装置等の工事</p> <p><input type="checkbox"/> 焼却設備の撤去工事 <input type="checkbox"/> 昇降路一体型昇降機設備の工事</p> <p><input type="checkbox"/> VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合</p> <p><input type="checkbox"/> その他、工作物等固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>【事例: 自然及び地盤条件への対応工事等】</p> <p><input type="checkbox"/> 作業スペース等の制約・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の異動や旋回等に制約をうけた工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5m以上の土盛りがある屋外配水管、受電引込管等を施工する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 海岸のため設計書では計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事</p> <p><input type="checkbox"/> その他、自然条件または地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>【事例: 周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要となった工事】</p> <p><input type="checkbox"/> ダイオキシン対策(レベル2以上)が必要な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道営業線に隣接し協議を必要とした設備工事</p> <p><input type="checkbox"/> 供用中の設備または建物で施工条件が非常に厳しい規制をした工事</p> <p><input type="checkbox"/> 自家発電設備、ポンプ設備等で施工時期が限定される工事</p> <p><input type="checkbox"/> 設備停止や停電作業を伴う工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施設管理者や地元との調整が特に多い工事</p> <p><input type="checkbox"/> 環境対策の制約が特に多い工事</p> <p><input type="checkbox"/> 地下作業等で酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事</p> <p><input type="checkbox"/> PCB、アスベスト等の有害物質を含む機器等の撤去を伴う工事</p> <p><input type="checkbox"/> 大規模なテレビ電波障害対策を行った工事</p> <p><input type="checkbox"/> 休日、夜間作業が工程の60%をしめる工事</p> <p><input type="checkbox"/> その他、周辺環境または社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p>
評価点	点	<p>評価点の付け方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度な技術は、加点点評価とする。 ・ 加点は+10点~0点の範囲とする。 ・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評価する(1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。 	<p>【キーワードの評価項目の評価内容詳細】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> マークを付したキーワード項目について評価内容の詳細を記載する。</p> <p><input type="checkbox"/> 優れた省エネ性や省資源性が評価できる技術</p> <p><input type="checkbox"/> その他、設備の機能の実現や施工において優れた技術力として評価できるもの</p>

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目に「○」を記入する。

5	I 創意工夫	創意工夫キーワード一覧表	
創 意 工 夫	キーワード 評価	<p>■ 準備・後片付け関係</p> <p>1. 位置出しにおける工夫や現地調査方法の工夫</p> <p>2. その他(理由:)</p> <p>■ 施工関係</p> <p>3. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫または設備据付後の試運転調整の工夫</p> <p>4. 供用中の設備運転と工事施工の工夫</p> <p>5. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫</p> <p>6. 部材・機材等の運搬・塵方式等を含む施工方法等の工夫</p> <p>7. 設備工事で、加工、組立等の工夫または電気工事の配線、配管等での工夫</p> <p>8. 設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫</p> <p>9. 照明・視界確保等の工夫</p> <p>10. 仮排水、仮設備、迂回路等の計画施工の工夫</p> <p>11. 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p>12. 支保工、型枠工、足場工、及び仮浅橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫</p> <p>13. 施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p>14. その他(理由:)</p> <p>■ 品質関係</p> <p>15. 集計ソフト等の活用と工夫</p> <p>16. コンクリートの打設関係の工夫(材料、打設、養生、出来形・品質等)</p> <p>17. 配管、ケーブル等の使用材料の工夫</p> <p>18. 配管、溶接等の作業に関する工夫</p> <p>19. 材料や施工の検査試験に関する工夫</p> <p>20. その他(理由:)</p> <p>■ 安全衛生関係</p> <p>21. 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、感電、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</p> <p>22. 安全教育、技術向上講習会、安全点検、安全帯使用等に関する工夫</p> <p>23. 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫</p> <p>24. 有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫</p> <p>25. 供用中の設備等の事故防止、工事関係者以外の安全確保等のための工夫</p> <p>26. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫</p> <p>27. その他(理由:)</p> <p>■ 施工管理関係</p> <p>28. 盛土の締固、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫</p> <p>29. 施工計画書及び写真管理等の工夫</p> <p>30. 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫</p> <p>31. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用</p> <p>32. その他(理由:)</p> <p>■ その他</p> <p>33. その他(理由:)</p> <p>34. その他(理由:)</p> <p>35. その他(理由:)</p>	
評価点	点	<p>評価点の付け方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する ・ 加点は+5点～0点の範囲とする。 ・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評価する(1項目1点を目安とするが、内容によつてはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。 	<p>【キーワードの評価項目の評価内容詳細】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>マークを付したキーワード項目について評価内容の詳細を記載する。</p>

- ※ 1. 創意工夫においては「4. 高度技術」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点、抽出記載する。
- ※ 2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫点は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本考査項目でも再評価する。
- ※ 3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から現場に適用した、些細な工夫であるが非常に役立つ軽微なものまで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※ 4. キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、担当課長及び監督員との合議をもって記述する。
- ※ 5. 「4. 高度技術」との二重評価はしない。
- ※ 6. 評定は請負業者より報告、もしくは提案のあったものを検討する。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目に「○」を記入する。

6 環 境 対 策	I 環境対策	環境対策キーワード一覧表	
	キーワード 評価	<p>■ 現場環境関係</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 指定建設機械等で低騒音、排出ガス対策機械を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 現場内のゴミの分別や減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への配慮を行っている。</p> <p>■ 周辺環境関係</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 周辺水環境に対する水質汚濁の配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に帯する粉塵・悪臭の配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 野生鳥獣物等の生息環境に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 周辺の眺望への自然景観に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 周辺河川・湖沼の汚染に配慮している。</p> <p>■ その他</p> <p><input type="checkbox"/> 10. その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 11. その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 12. その他(理由:)</p>	
	評価点	評価点の付け方	【キーワードの評価項目の評価内容詳細】
	点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境配慮事例を加点評価する ・ 加点は+5点～0点の範囲とする。 ・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評価する(1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。 	<p><input checked="" type="checkbox"/> マークを付したキーワード項目について評価内容の詳細を記載する。</p>